

# 22年度の町の事業

# 議員が総点検

## 歳入

問 不況は、どういうところに影響が大きかったのか。

税務課長 21年度と比べ、納税義務者数が7,906人から7,815人に減った。不況による雇用情勢の悪化などにより、個人町民税の減収が続いている状況である。

問 国からの地域活性化・きめ細かな臨時交付金、約4,300万円の用途は。  
企画課長 石畑地区のスポーツ広場の駐車場、町道の交差点の改良、ポケットパーク事業などを実施した。

## 産業と観光

問 住宅改修補助金での工事内容の特徴と経済効果はどの程度あったのか。

産業課長 改修は、外壁や台所、トイレなどの水周りが多かった。経済効果は、93件で1億円程度あった。

問 瑞穂ブランド特産品の成果はあったのか。

産業課長 都立農芸高校で、ハチミツや瑞穂の小麦、ブルーベリーを使って「ハニー☆ベリー焼き」を製品として、東京都でも入選、関東甲信越大会にも参加した。

問 狭山池周辺整備調査委託料99万7,500円で、具体的にどのような調査を行ったのか。

建設課長 4名で担当し調査した。内容は、地下埋設物の調査や、動植物の調査である。



狭山池公園

## まちづくりと国際交流

問 栗原土地区画整理事業準備会助成金は当初予算が5,200万円であったが、3,764万円となった理由は。

都市計画課長 環境影響評価業務委託を22年度までで完了の予定だったが、1年延長し、その部分の事業費を減額した。

問 都営バス公共負担金が、毎年約2,000万円と高額だが算定基準は。

秘書広報課長 固定負担、実車走行、延べ人キロの割合で、沿線6市町村が3分の2、都が3分の1の負担である。

問 タイとの国際交流で、住民にとっての成果は。

企画課長 70周年の式典に参加予定のタイ訪問団の来日は中止となった。シラチャ市の日本人祭りに、町長・議長・随員職員で参加した。友好関係継続の話し合いを持つことを約束した。

## 福祉と健康

問 地域包括支援センターが10月から民間委託されたが、その成果は。

高齢課長 庁舎内に設置されたことで、高齢課と包括との相互間の協力体制もできつつある。また、民間ならではの相談内容の症例も多く、相談数も増えている。

問 ふれあいセンターが指定管理者委託されたが、利用者の状況は。また、経費面では、委託後大幅に増えているがその理由は。

福祉課長 22年度は3万5,545人利用し、カフェコーナーでは3,361人の利用があった。経費では、エレベーターの設置に伴う保守点検、障がい者雇用のための指導員配置、その他、休館日を月1回に減らした事による人件費、光熱水費を個別空調にした事などが主な理由で約500万円増加した。

問 予防接種でヒブワクチンと新型インフルエンザの実績は。

健康課長 ヒブワクチン接種138名、新型インフルエンザ接種188名であった。

問 高齢者記念品について、検討の上どのように実施されたのか。また費用は。

高齢課長 88歳の米寿の記念なので実用品はそぐわないと考え「メダル」にした。価格は、ケースも含み1個3,500円（税別）。初年度の取り組みの為、メダルの版代として8万円程かかった。



高齢者記念品の「メダル」

## 教育

問 学力向上策の成果は。

指導課長 学習サポーターをつけて、学力向上を図った。学習サポーターをつけた学年、教科、すべてにおいて、21年度の調査結果を上回った。

問 外国語指導の成果は。

指導課長 町では業者委託をし、外国人のネイティブな生の英語に触れる機会を設けた。小学校・中学校それぞれ35時間、授業に取り入れ実施した。教員にとっても効果があった。

問 放課後子ども教室推進事業の成果と課題は。

社会教育課長 22年度から社会教育課で一本化して実施した。成果は、実施回数が30回増え、1,000人以上の参加があった事。学童保育との連携など、放課後のあり方が課題。



放課後子ども教室の様子

## 安心・安全

問 LED照明は、どこに設置されたか。

地域課長 長岡の春日公園から下野公園まで、25基を設置。LEDは省電力で環境負荷が少なく長寿命であり、今後も研究を重ね設置していく。

問 違反屋外広告物撤去委託料の成果は。

建設課長 シルバー人材センターに委託し、1年間で看板1,283枚が撤去された。